

まちづくり地区懇談会（中曽根区） 会議録

開催日時：平成 28 年 10 月 21 日

18 時 30 分～中曽根公民館

参加区民数男性 26 人

女性 5 人

地区名：中曽根区

日時：平成 28 年 10 月 21 日（金）18：30～20：20

会場：中曽根公民館

町参加者：町長・副町長・中村課長・百瀬課長・鈴木係長・小林地域支援スタッフ・小川係員

参加人数：31 人（男性 26 人：女性 5 人）※町・主催者、報道機関を除く

報道機関：－

主な発言：※要約・箇条書きにて記録

【懇談】

参加者) 熊よけの鈴の配布に対し、感謝する。

町道 8 号線について交通量が多い。グリーンベルトの設置や、通学時間帯の交通の制限等をかけられないか。また、公民館を西に進んだ所の町道 8 号、9 号、6 6 3 号、6 3 0 号による 5 叉路について一時停止標識がある道路が一か所なので、危険であり、対応願いたい。

町長) グリーンベルトは通学路に設置しているが、交通量が多い道路には検討していく。五叉路についても、何か処置出来るか、検討する。

参加者) 大型農道の赤色ランプが壊れている。

町長) 実施主体は中部電力であるが、町としても早急に修理するよう依頼する。

参加者) 保育園に未満児を預けているが、発熱等した場合すぐ呼び出される。

保育園に看護師等を配置して処置することはできないか。

また、ラクター（電動カート）について町の補助をお願いしたい。

町長) 看護師等の配置については難しい。ラクターについても同様だが、検討したい。

参加者) 中曽根区唯一の商店が閉店する。泰成運輸の移動販売ルートに中曽根区が入っていないが、入れて頂くことは出来るか。

町長) すぐに対応する。

参加者) 地域包括ケア会議でケアメンバーが決まってきた。活動についてはこれからだが、補助を出してほしい。

町長) 原則論から言えば地域でやっていただきたい。何かしらできると思うが、継続的に運営していかなければならないので、何に(補助)を出すのか見当が必要。すぐできるか保証できないが、検討していく。

参加者) 道路脇の樹木の伐採についてニチノウの周辺は良いが、日之出建工の周辺もやっていただけるとありがたい。

町長) 検討する。

参加者) 帯無川の橋周辺道路にガードレールがない。毎年事故が発生しているので、ガードレール設置を検討して頂きたい。また、道路脇の樹木についても道に迫ってきているので、処理して頂きたい。

町長) 現況等を確認し、検討する。ただ、道路脇の樹木については、土地の所有者が遠方に住んでいる等の事情もあり、町としても対策を考えている。

参加者) 第五次振興計画の説明会に行ったが、イメージがわからない。具体的にまちが何を目指しているのか、具体的なものがあれば示して頂きたい。重点プロジェクトについても、たくさんあるが、最上位のものはあるか。

町長) 第五次振興計画については町が行う個別施策の上位計画なので、総花的になる。箕輪町については、一定の生活レベルにある。第五次振興計画については、人口減少社会の中でそのレベルを維持することが目標になっている。人を減らさないためには、人と仕事を作ることが大事である。箕輪町は、民間主導で産業を発展させてきており、行政はあまり手を入れていない状況である。なので、これからはそれらについてコミットしていく。市町村間の競争についても勝っていく必要がある。

参加者) 中曽根区は人口が少ない。南箕輪に人が移っている。ブランド作りや強力な指導者、研究が必要。地域を支援してくれるアドバイザー・専門家が欲しい。

新規就農も少ない。

町長) アドバイザーは必要。また箕輪町は、6次産業が弱い。検討していかなければならない。

【まとめ（町長）】

- ・提案が多かったので、宿題として持ち帰らせていただく。
- ・セーフコミュニティについての話があったので、ご説明する。5年目を迎え取り組んでいるところ。国内認証がなく、国際認証なので、経費が必要。ですが、認証取得というよりも、その取組みに意味がある。安全・安心のマイづくりの一つの手法。取組みが大事であることをご理解いただきたい。
「地域の中でできるだけやりましょう」という気持ちでお願いしたい。

以上